



学校だより

学校の教育目標

- ・思いやりがあり、心の豊かな人になろう
- ・自ら学び、考え、表現できる人になろう
- ・心身ともに進んで鍛え、健康な人になろう

第11号

令和4年3月23日

杉並区立阿佐ヶ谷中学校

校長 工藤 康男

「夢をあきらめない」

校長 工藤 康男

一雨ごとに暖かさが増し、春の香りが感じられる季節となりました。自然は忘れることなく、私たちに希望の春を届けてくれています。季節の移り変わりは、学校生活の時間の流れも感じさせます。3月は旧暦で「弥生」とも言います。弥生の語源は諸説ありますが、一説では「いやおい(弥生)」の変化で、「いや(弥)」は「いよいよ」「ますます」などの意味であり、「おい(生)」は「生い茂る」などに使われるように、草木が芽吹くことを意味し、草木がだんだん芽吹く月であることから、弥生になったと言われています。草木が暖かな陽射しを受け、光合成によってエネルギーをため込み、これから大きく成長するための準備をしている時期です。

教育活動においても、この時期は入学あるいは進級してからの1年間で、どのように子供たちが成長したかを振り返る時期です。それと同時に次年度に向けて準備をする期間となります。慣れた環境とは違い、友人との別れや新しい出会いがあります。自分自身をさらに成長させるためにも、新たな決意をもって夢や未来に向かってチャレンジしてほしいと願っています。そのためには、強い意志が必要です。学習の基礎・基本や社会生活を送るための基礎・基本はたくさんありますが、それらを身につけるには、我慢することや粘り強さも大切です。今はできないことも、あきらめる

ことなく努力することで、少しずつできるようになってきます。人間関係の難しい課題も、誠意をもって辛抱強く相手の心にはたらきかければ、きっと解決の道が開かれてくることもあります。

冬季オリンピック・パラリンピックで活躍した、多くの人が知っている羽生結弦選手は、「夢をあきらめない。いや、常に課題をもち続ける。」「逆境は嫌いじゃない。弱いというのは強くなる可能性がある。」と述べています。オリンピックを2連覇したアスリートでさえ、未だに夢を追い続けている姿には驚くばかりです。また、「真っ暗だからこそ見える光がある」とも述べています。この言葉は、2011年3月11日の東日本大震災での医療従事者と闘病中の患者への励ましの言葉です。

現在も、先行きが見えない社会情勢や新型コロナウイルス感染症が続いています。この現実を各自が受け止め、明るい未来への可能性を探って欲しいと願います。そのためには、大きなエネルギーが必要だと思いますが、「夢をあきらめない」という自分自身の願いをエネルギーに変えて、前に突き進んで欲しいと思います。

今後も、学校と保護者・地域との連携をさらに深めながら、子供たちを見守り、支えていきたいと思えます。次年度も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

教育活動報告

3月2日(水)に、「阿佐中サミット」がありました。オンラインで行った杉並第六小学校と杉並第七小学校の児童会と阿佐ヶ谷中学校生徒会のパネルディスカッションを受けて、「情報との向き合い方について大切だと思うことは何か」について考えました。



3月1日(火)～5日(土)に、文化発表会展示部門がありました。各教科から素晴らしい作品やレポートの展示がありました。



3月5日(土)に、春の子ども祭りがありました。杉並第六小学校、杉並第七小学校、阿佐ヶ谷中学校の児童・生徒の有志による実行委員会が企画を考え、参加者全員で楽しむことができました。



3月18日(金)に、第73回卒業式を行いました。82名の生徒が、阿佐ヶ谷中学校を巣立っていきました。



4月の予定

月日	曜日	給食	行事予定
1	金		
2	土		
3	日		
4	月		
5	火		春季休業日終
6	水	×	始業式
7	木	×	入学式
8	金	○	安全指導 生徒会オリエンテーション
9	土		
10	日		
11	月	○	全校朝礼 身体計測
12	火	○	生徒写真撮影
13	水	○	杉教研
14	木	○	内科検診(3年)
15	金	○	避難訓練
16	土	×	土曜授業 保護者会(全)
17	日		
18	月	○	生徒会朝礼
19	火	○	国学力調査(3年)
20	水	○	
21	木	○	校外学習(G組) 内科検診(2年)
22	金	○	
23	土		
24	日		
25	月	○	学年朝礼
26	火	○	PTA委員総会
27	水	○	フレンドシップスクール(1年)
28	木	○	フレンドシップスクール(1年)
29	金		昭和の日
30	土		